

加茂地区の世帯・人口

世帯数 2,398 世帯  
 人口 5,044 人  
 男 2,520 人  
 女 2,524 人  
 平成31年2月1日現在

# かも福祉だより

平成31年3月1日発行  
 第10号  
 発行者 加茂地区社会福祉協議会  
 事務局 吉沢学園交流棟  
 市原市吉沢117番地

## 高齢者地域支え合い事業

～高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるように！～

急速な高齢化の進展に伴い、今後、支援を必要とする高齢者も増加していくことが見込まれる中、2015年（平成27年）4月の介護保険制度の改正により、各市町村では、地域全体で高齢者の生活を支える「地域包括ケアシステム」の構築に向けた取り組みをすすめることになりました。

**地域包括ケアシステムとは**、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」が一体的に提供される体制のことであり、「地域包括ケアシステム」の構築を目指す目的は、団塊の世代が75歳以上となる2025年（平成37年）となっています。

国では、この取り組みを今年度中までに全国の自治体で開始していくことで進めており、本市では「地区社会福祉協議会」が主体として推進していくこととなりました。

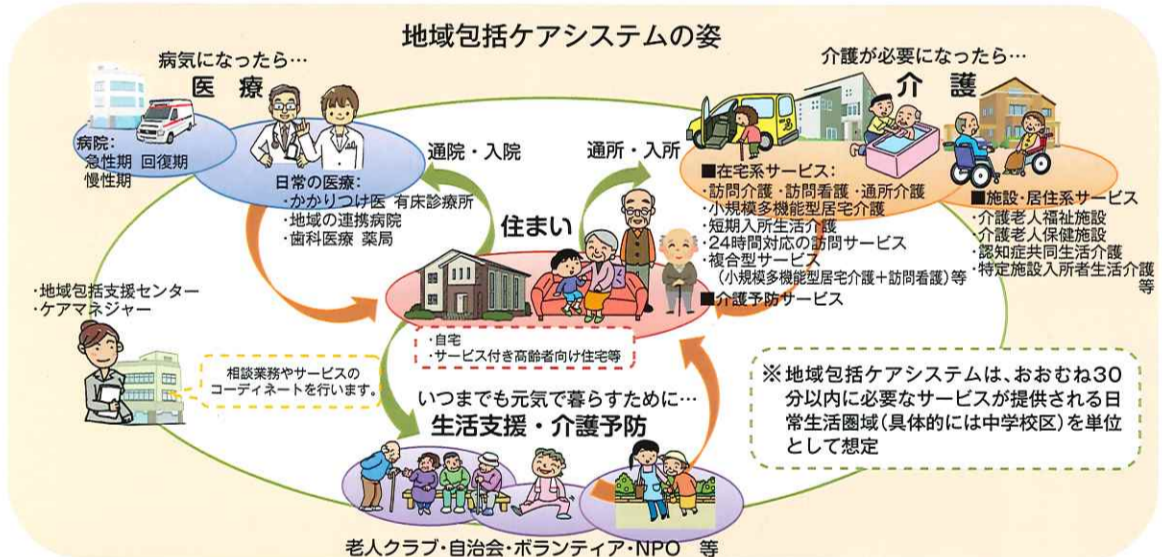
地域包括ケアシステム構築に向けた取り組みの一つである「生活支援体制整備の推進」について、平成30年度中に地区社協圏域に第2層協議体の設置と生活支援コーディネーターの配置を求められていることから、市全域を対象とした第1層生活支援コーディネーターは平成29年度から市社協（事務局）が、地区社協圏域とした第2層生活支援コーディネーターは平成30年度から市社協地区担当職員が兼務で担っています。

**加茂地区第2層協議体は**、平成30年12月に設置し、構成員は別表のとおりです。

第2層協議体では、多様なサービス提供主体間の情報共有及び連携・協働による資源開発や高齢者の社会参加及び生活支援等の推進をしていきます。

### 加茂地区第2層協議体委員名簿 (平成30年12月9日現在)

No.	氏名	所属団体	備考
1	明賀 彦之	加茂地区町会長会(会長)	
2	御園生 博	加茂地区町会長会(副会長)	
3	杉田 政行	加茂地区町会長会(副会長)	
4	相川 光夫	加茂地区町会長会(副会長)	
5	田村 孝之	加茂地区民生委員児童委員協議会(副会長)	
6	三森 俊彦	加茂地区民生委員児童委員協議会(副会長)	
7	飯塚 忠義	加茂地区民生委員児童委員協議会(副会長)	
8	宮原 誠一	高滝地区小域福祉ネットワーク(会長)	
9	小宮 仁	富山地区小域福祉ネットワーク(会長)	
10	宮原 敏夫	白鳥地区小域福祉ネットワーク(会長)	副代表
11	佐藤 有一	里見地区小域福祉ネットワーク(会長)	
12	吉川富貴子	社会福祉法人 昭和村 軽費老人ホーム 湊泉荘(施設長)	事務スタッフ
13	杉田 知子	社会福祉法人 加茂つくし会 特別養護老人ホーム 高滝神明の里(施設長)	
14	根本 忍	特社会福祉法人 うぐいす会 別養護老人ホーム 緑祐の郷(施設長)	
15	林 壽美子	社会福祉法人 ききょう会 指定障害者支援施設 吉沢学園(理事長)	
16	花澤 廣吉	加茂地区社会福祉協議会(会長)	代表
17	子安 節雄	加茂地区社会福祉協議会(副会長)	
18	岩淵 匡	加茂地区社会福祉協議会(事務局長)	
19	近藤まゆみ	地域包括支援センタートータス管理者	
20	濱田 美奈	第2層生活支援コーディネーター(加茂地区担当)	



### 本市の生活支援等サービスの体制整備推進イメージ



## 通いの場事業

### カトリア会 (高滝地区北久保)

10時開始にもかかわらず、9時50分には会館の掃除も終わり、CDもセットされ、準備万端。当番を決めているわけではないが、早く来た人が準備をしている。会員が揃ったのを確認し、「市原いいあんばい体操」が始まる。わずか6分～7分で終わる。少し身体が温まったところで筋トレにはいる。筋トレといっても大げさなものではなく、転倒予防につながる程度の運動だ。かかと・つま先の上げ下ろし、足踏み、スクワット、椅子に腰かけて足を上げる等。またどこからともなく「こんな体操はどう？」と声があれば皆でやってみる。一通り終わると次は「脳トレ」。指、手を使って左右異なる動作をする手指の運動だ。脳を刺激することで脳の血流を高め、脳の若返りを図ることが目的。思うように動かない自分の手指をみて歯がゆい思いをしたり、失敗しても笑いがでるなど大騒ぎしながら楽しんでいる。その後は、楽しい茶話会で話がもりあがる。



発足して間もない通いの場です。思考錯誤しながらみんなで楽しんでいます。  
 \*クリスマス会、創作活動(エコたわし)等季節に合わせた行事も取り組みました。

### 太極拳の会(富山地区)

私達は年齢64～78歳の12名で、現在は毎月第1水曜日の午後1時半から旧富山小学校の体育館をお借りして活動しています。

内容は勿論太極拳をメインに、その中で絵札を使って記憶力の確認のようなことをやったり、カードを使ったじゃんけんをしたりと講師の先生がいろいろと認知症予防になるようなことをしてくれて楽しくやっています。

太極拳自体は過激な運動ではないので、本当にゆっくりと自分のできる範囲以内でやるので、私のような右肩が不自由な者でもできる体操で、とても気に入っています。



### ひなたぼっこ(田淵旧日竹・天ヶ代地区)

初年度は内容を特定せず、さまざまな体験をしようということでスタートしました。10月

は刺し子のふきん作り、11月は筆あそび、12月はふまねっと運動。そして1月は懐かしい童謡唱歌を合唱し、若返りの唄や認知症予防の話も織り交ぜながらの和やかな会となりました。

「思い切って来てよかった」「気分も体もスッキリした」の声も聞こえ、「ひなたぼっこ」は年をとっても元気でいたいと頑張る皆さんの笑顔で溢れています。



# 第1回 加茂高齢者の集い

# 加茂地区バージョンで 開催!!

加茂高齢者の集いが9月30日(日)午前10時30分、加茂公民館体育室で加茂地区社会福祉協議会主催の加茂地区バージョンにより開催されました。

先輩の方々が永年続けて来られた「高齢者の皆様を敬う気持ち」を大切にしたいとの総意で町会長さんをはじめ各福祉施設の方々、各種団体の方々の全面的協力体制のもと「おもてなしの気持ち」で開催されました。

参加していただいた高齢者は187名で町会介添人・スタッフを含め総勢250名を超えました。

お祝いの式典では、高滝・富山・里見・白鳥各地区参加者の中から最高齢者の男性、女性に記念品が贈呈されました。演芸の部では、蔭山講師による椅子に腰掛けていても出来る体操で体を解しました。加茂学園吹奏楽部の演奏では、お孫さんたちが日々練習の成果を発表する場も広がっており、会場には素晴らしい演奏が流れ、高齢者の皆様は微笑ましく聞き入っていました。恒例の地区内4福祉施設の職員による踊り、寸劇などは一流芸人以上の演技力で拍手喝采となりました。トリの演芸披露は、ゆいまーる&龍覇のエイサー太鼓(姉崎)で会場一杯に広がり沖縄民謡と太鼓・踊りを組み合わせた演技は迫力があり、高齢者や会場にいた人達に大いに元気を与えてくれました。

予算の都合で昨年と同様の内容とはいかない面もありましたが、高齢者の皆様からは「大変良かったので来年も」という声が聞かれました。



## 小域福祉ネットワーク

### 高滝地区 「介護」と「防災」

今年度の高滝地区小域福祉ネットワークのテーマは「介護」と防災」であった。

9月12日(水)地域包括支援センターに講師をお願いし、「介護保険」を学習した。介護の社会化が叫ばれて久しいが、介護離職、老老介護などを巡る様々な問題が表面化する中で、保険料負担が増加、給付の条件が厳しくなっているなど、いくつかの問題点が明らかになった。その一方で介護保険の仕組みや利用の仕方そのものを知らない世帯が多い。各町会でも周知する取り組みの必要性を感じるなどが声としてあがった。

また、11月20日(火)横浜市民防災センターで研修を行った。推進委員20名の参加で、極めて高度な地震体験や防災意識向上の映像プログラムに参加者全員感動するとともに、各家庭での普段の防災の備えや近所とのつながりの必要性を強く感じる研修となった。



### 安心は冷蔵庫の中に 里見地区

#### 安心な里見地区

里見地区448世帯1,175名に、安心キッドを配布しました。

家族がいなかった時の緊急時や災害時に、救急隊員が冷蔵庫から取り出して、対処していただくものです。さらには、警察官のアドバイスで本人写真を貼るスペースも設けましたので、身元確認もできる安心カード入りとなっております。

継続して行っている見守り支援活動は21名(12月現在)に対して実施しております。



### 富山地区 「あんしんカード」の活用拡大

富山地区では、見守り支援を希望する家庭に「あんしんカード」をお配りし、救急車を呼んだ時に役立つようにしてきましたが、今年度より新たに、訪問はしてくれなくても「あんしんカード」が欲しいとの要望から、今までより小さめの筒に入れた「あんしんカード」を配付し、冷蔵庫に保管して頂いています。富山地区全体で約百世帯にお配りしました。まだ数の余裕がありますので、ご希望の方は連絡をください。



役員会



研修(集合写真):9月23日

☎96-0137小宮

### 笑顔が見える支援

### 白鳥地区



たことを感謝申し上げます。

これからも、地域の皆様の笑顔がたくさん見られるように、地域主体の活動を進め「出前講習会」がネットワークの交流の場になるように、一步一步前に進んでいきたいと思ひます。

私たちは、7月に救急救命講習会、そして年末にはフォローアップ研修として振り込め詐欺防犯講習会、認知症サポーター講習会を開催致しました。町会の皆様のご協力を頂きました。



## 加茂地区社会福祉協議会賛助会員へのさらなる加入のお願い

少子・高齢化や核家族化などが進行し、高齢者世帯や独居世帯などの増加により、地域には複雑かつ複合的な生活課題を抱えたまま生活を送っている方々も増えております。今後、ますます増大する福祉課題や生活問題に対応していくためには「地区社協」としてできるだけ多くの自主事業費を確保する必要があります。皆様には趣旨をご理解いただき「加茂地区社会福祉協議会賛助会員」としてご支援・ご協力をいただきありがとうございます。平成30年度の加入者数は、

個人会員=355名(各種協力団体の会員を含む)

企業・事業所=16社 合計371個人・団体で603,000円の賛助会費となりました。

本年度から市原市の敬老会事業はなくなり、市からの助成金はなくなりました。

しかしながら、加茂地区独自の力で高齢者の「集いの場」(敬老会)をこれからも続けていこうと考えております。

そのためにも賛助会費が大切な財源となります。

このことをご理解いただき、更なるご協力と加入をお願いいたします。

1. 賛助会費 年額 一口 1,000円(口数は問いません)

\*問い合わせは加茂地区社会福祉協議会役員及び理事にお願いします。

